

## 令和元年度 地球温暖化防止に向けた市の取組み結果

令和元年度に市の事務・事業活動によって排出された温室効果ガスの総排出量は、12,809トンでした。平成25年度(基準年度)比で、約2.27%減少しましたが、目標(令和4年度までに、11,746トン以下)を達成することはできませんでした。今後も「第2次久喜市環境保全率先実行計画」に基づき、取組みを進めていきます。

項目	主な取組み内容	取組み項目	令和元年度結果 (平成25年度対比)	令和元年度 目標値 ※1	達成 状況
電気使用量 ★	昼休み時の消灯、ノー残業デーの実施、トイレ・給湯室・会議室等のこまめな消灯、冷暖房温度の適正管理、太陽光発電システムの活用 等	—	0.3%増加	5.3%削減	未達成
施設の 燃料使用量 ★	ボイラー等の適正運転、冷暖房温度の適正管理、ガス器具の適正使用、省エネルギー機器の導入 等	灯油	33.0%削減	18.0%削減	達成
		A重油	28.8%削減	8.8%削減	達成
		LPガス	7.3%削減	1.1%削減	達成
		都市ガス	16.0%増加	4.3%増以内	未達成
公用車の 燃料使用量 ★	ノーカーデーの実施、出張時の公共交通機関の利用、公用自転車の利用、アイドリングストップ 等	ガソリン	30.3%削減	12.3%削減	達成
		軽油	25.8%削減	30.1%削減	未達成
水道使用量	節水コマの取り付け、こまめな蛇口の開閉、トイレの1回流し 等	—	10.2%削減	±0	達成
ごみの減量	分別回収ボックスの活用、使い捨て容器の購入や使用を控える、物品の共有化 等	(本庁)	71.5%削減	—	
		(全庁)	分別を徹底した	分別を徹底する	達成
コピー用紙 購入枚数	ミスコピーの裏面使用、会議資料の簡略化、必要最小限の資料作成、市役所LANによる掲示板の活用 等	—	4.9%増加	±0	未達成
グリーン 購入の推進	購入前にグリーン製品であるか確認、環境汚染物質を発生させる可能性のある製品の購入を控える 等	—	購入率 82.8%	購入率 95%以上	未達成
公共事業に係る 環境配慮 (A評価割合)	公共事業環境配慮項目の実施、低騒音・低振動型の建設機械の使用、再生資源の活用、建設廃棄物等の適正処理 等	—	A評価割合 100%	A評価割合 95%以上	達成

★印は、温室効果ガス排出量算定の基礎となる項目です。

※1 令和元年度目標値は、「第2次久喜市環境保全率先実行計画」(平成29年3月策定)において定めた目標値です。